

遠隔計測監視システム 2300 用アプリケーションソフト

「Smart Site Utility Pro 9768」の移行手順書

本紙は、Smart Site Utility をインストールして運用しているパソコンを、別のパソコンに移行するための手順書です。パソコンのOSは、Windows 7から、Windows 10としています。

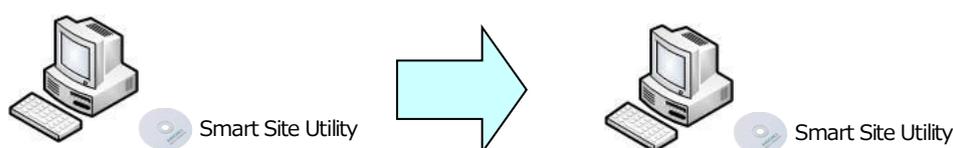
移行には、約 1~2 時間程度かかります。
 (旧パソコンに保存されているファイルサイズに依存します)
 移行中は、リアルタイムモニタやアラーム出力ができません。
 運用に影響が少ない時間帯での作業を、お勧めします。

1. 移行の概要

Smart Site Utility には、「設定フォルダ」や「記録フォルダ」等が存在します。

これらのファイルが、移行対象となります。

また、Smart Site Viewer を使った日報・月報レポート出力機能を利用している場合、
 テンプレートファイル等も移行対象となります。



【旧パソコン】

OS : Windows 7

Ⅲ.記録の停止

Ⅳ.ファイルのコピー

Ⅵ.ソフトウェアのアンインストール

【新パソコン】

OS : Windows 10

Ⅰ.IP アドレスの設定

Ⅱ.ソフトウェアのインストール

Ⅴ.ファイルの貼り付け、動作確認

※ : 新・旧パソコン間で、操作が行き来します。

2. ソフトウェアのサポート状況

対応 OS	Windows7		Windows10	
	32bit 版	64bit 版	32bit 版	64bit 版
Smart Site Utility Pro 9768	◎ Ver4.70 以降		○ Ver4.75 以降	
サーバ/クライアントオプション 9768-01	◎ Ver4.70 以降		○ Ver4.75 以降	

オプション・ソフトウェアにつきましては、9768 のバージョンに準じます。

・ LAN モジュールメールオプション 9768-02

・ Modbus サーバオプション 9768-03

◎：動作可能です（仕様の動作環境に「Windows7」を記載済みです）

○：動作可能です（仕様の動作環境に「Windows10」を記載していません）

最新情報は、ホームページの「サポート情報」を参照ください。

https://www.hioki.co.jp/jp/support/soft_windows10/

3. 移行前の準備・確認事項（ご購入時の選定により、ソフトウェアの型番が異なります）

- 1. Smart Site Utility Pro 9768 CD-R 1枚

弊社ホームページより、バージョンアップファイルがダウンロードできます。

<http://2300.hioki.jp/9768v.html>

■ダウンロードファイル

Ver 3.xxのバージョンはソフトウェアが異なるため対象外です。新規ご購入をお願いします。

Smart Site Utility Pro 9768

<p>日本語版</p> <p>○V4.20以上 → V4.75(25.80MB) Download</p> <p style="color: blue; font-size: small;">V4.12~4.20未満のお客様は こちらをご覧ください</p>	<p>英語版</p> <p>○V4.73(21.95MB) Download</p>
--	---

※：お手元のCD-Rのバージョンが古く、インストールできないお客様は、最寄りの営業所までお問い合わせください。

- 2. オプション・ソフトウェアの CD-R

Smart Site Utility の[ヘルプ]-[バージョン情報]にて、オプション・ソフトウェアの利用状況を確認ください。



－ 3. 外部メディア

設定・記録ファイル等のデータを、移行するための外部メディア。(USB メモリや CD-R 等)

－ 4. 新パソコンの動作環境

Windows10 が動作するパソコンスペックであれば、問題なく動作します。

なお、有線 LAN のインターフェースが必要となります。

また、Smart Site Viewer を使った日報・月報レポート出力機能を利用している場合、別途 Excel が必要となります。

4. 新パソコンの準備 (Windows10)

– 1. 時刻補正

パソコンの時計を合わせてください。

– 2. I Pアドレス

新パソコンの I Pアドレスを、設定してください。 I Pアドレス: _____

– 3. 電源の設定

Windows の [設定] 画面で、[電源とスリープ] の項目内の [PC をスリープ状態にする] を、[なし] と設定してください。

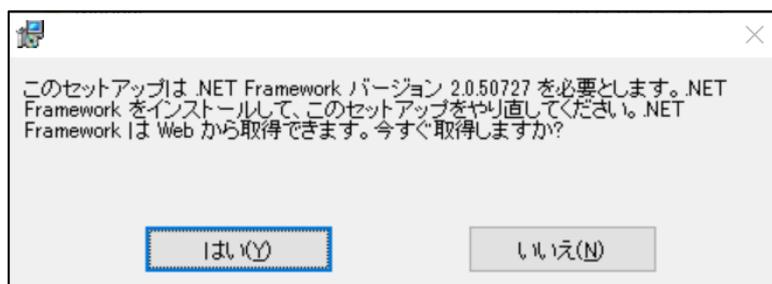


– 4. ソフトウェアのインストール

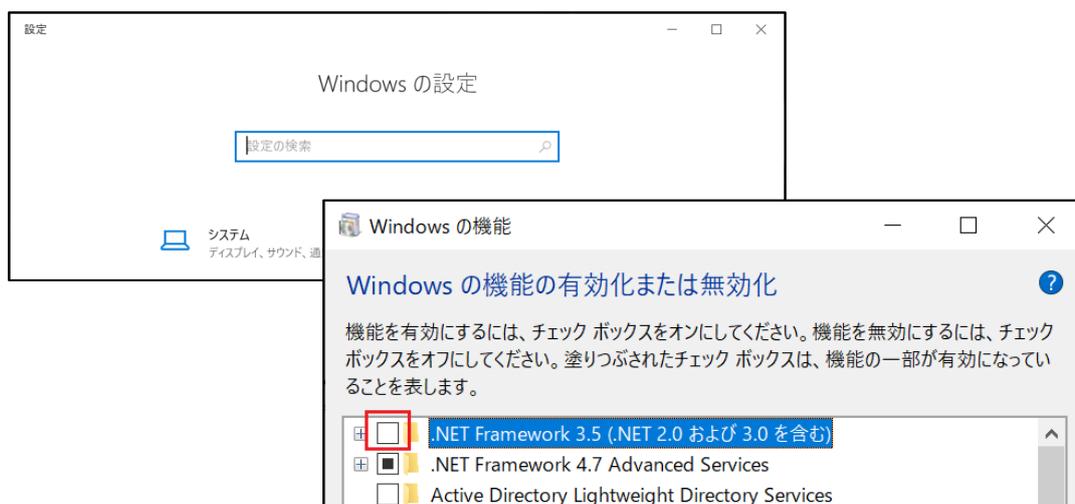
「Smart Site Utility」とオプション・ソフトウェアをインストールします。

なお、Windows10 の場合、インストールには以下の注意が必要です。

- (1). 「Smart Site Utility」のインストール時、以下のメッセージが表示された場合は、.NET framework3.5 を有効にする必要があります。



Windows の [設定] にて、「Windows の機能の有効化または無効化」を検索します。
 .NET framework3.5 を有効とした後、「Smart Site Utility」をインストールします。



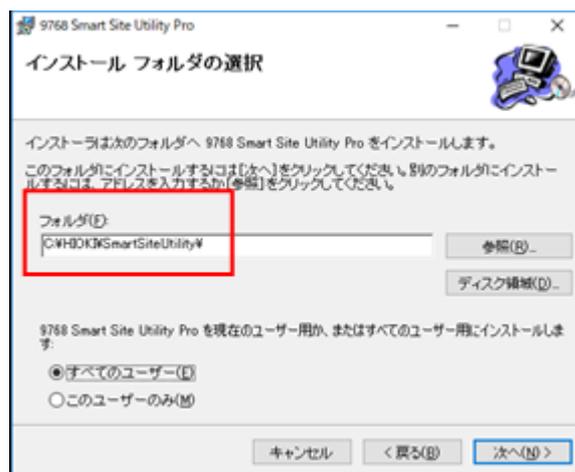
(2).インストールフォルダを、デフォルトの C:¥Program Files 以外に変更してください。

「Smart Site Utility」

C:¥Program Files¥SmartSiteUtility¥



C:¥HIOKI¥SmartSiteUtility¥



(3). 「Smart Site Utility」のインストール後、オプション・ソフトウェアをインストールします。

– 5. ソフトウェアの起動

「Smart Site Utility」が、起動することを確認します。

[ヘルプ]–[バージョン情報]にて、オプション・ソフトウェアのインストール状況を確認してください。



– 6. Excel

Smart Site Viewer を使った日報・月報レポート出力機能を利用している場合、別途 Excel が必要となります。一度起動して、ライセンス認証を完了してください。

5. Smart Site Utility での操作 (Windows7)

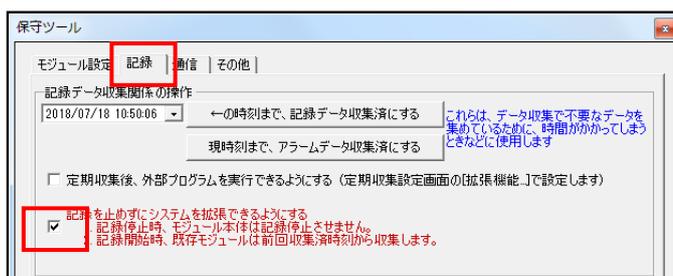
移行中は、リアルタイムモニタやアラーム出力ができません。
運用に影響が少ない時間帯での作業を、お勧めします。

- 1. 「システム拡張モード」の設定

「Smart Site Utility」の[ヘルプ]-[バージョン情報]にて、画面の中央付近 (Copyright 付近) をダブルクリックします。
[保守ツール] のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックし、画面を閉じます。



[ヘルプ]-[保守ツール]で、[保守ツール]画面を開き、[記録]のタブをクリックします。
[システム拡張]にチェックを入れ、[OK]をクリックします。
以降、「システム拡張モード」がON となります。



※ : [保守ツール]では、これ以外の項目は、操作しないでください。

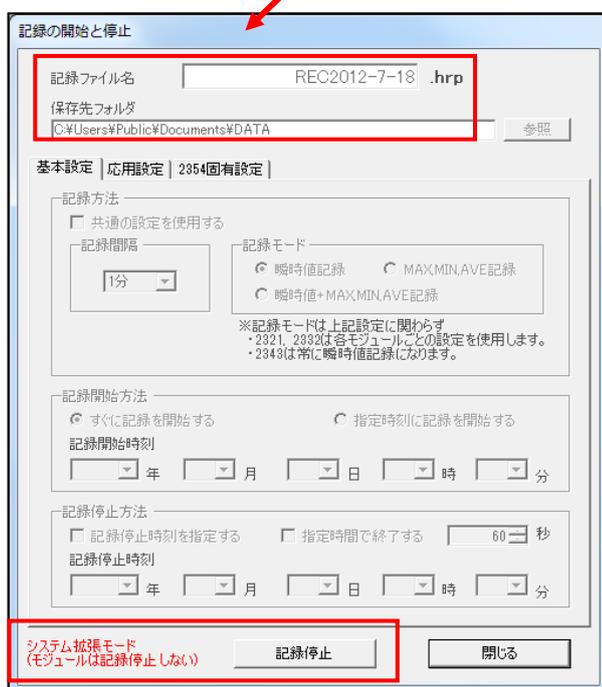
- 2. 記録の停止（※：記録を停止しても、モジュール本体は記録動作を継続しています）

ツールバーの [記録設定] ボタンを押します。

[記録の開始と停止] 画面で、記録ファイル名と保存先フォルダを、下記に控えておきます。

[システム拡張モード]の表示を確認し、[記録停止]ボタンをクリックします。

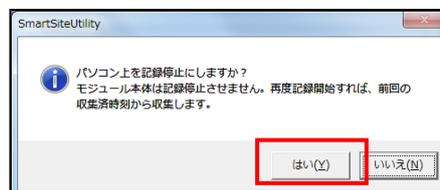
確認画面で、[はい]をクリックし、パソコン上の記録を一旦停止します。



記録ファイル名：

.hrp

保存先フォルダ：



- 3. メニューバーの[ファイル]-[終了]をクリックし、「Smart Site Utility」を終了します。

(または、右上の  をクリックします)

「通信を実行中」といったメッセージが表示された場合も同様に、[はい]をクリックし

終了します。



※：新・旧パソコンで、Smart Site Utility は同時に起動できませんので、必ず終了してください。

6. ファイルのコピー (Windows7)

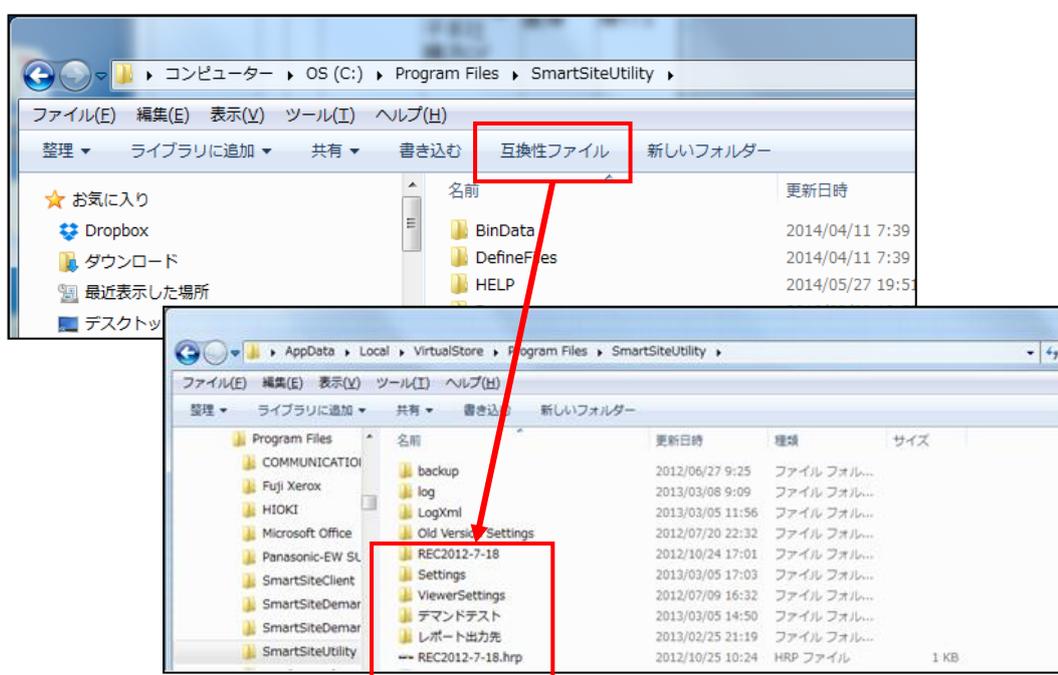
現在使用しているパソコン (Windows7) から、必要なフォルダおよびファイルをコピーします。

– 1. Smart Site Utility

インストール先のフォルダ (通常は C:\Program Files\SmartSiteUtility) を開き、以下のフォルダおよびファイルを、外部メディア (USB メモリ等) にコピーします。

※ : Windows 7 では、ユーザアカウント制御 (UAC) の設定によって、

C:\Program Files\SmartSiteUtility のフォルダ内に、目的のフォルダやファイルが表示されないことがあります。その場合、**[互換性ファイル]** ボタンをクリックすることで、フォルダやファイルが表示されます。



- ① 「Settings」 . . . 機器の構成や測定条件などが保存された「フォルダ」
- ② SSutil.xml . . . 「Smart Site Utility」の設定に関するファイル
- ③ 「ViewerSettings」 . . . 「Smart Site Viewer」の設定に関する「フォルダ」
 (③については、存在しない場合もあります)
- ④ RECxxxxxxxxx.hrp . . . 記録データ代表ファイル※
- ⑤ 「RECxxxxxxxxx」 . . . 記録データが保存された「フォルダ」※

※：記録データについて（④・⑤）

④・⑤の名称は、記録を開始する際、「Smart Site Utility」が、「RECxxxxxxxxxx」という記録ファイル名を自動的に付けますが、任意の名前に変更している場合もあります。

（xxxxxxxxxxの部分は、記録開始時の年/月/日/時/分を示す10桁の数値が入ります）

また、記録データの保存先も、任意に設定できるため、上記フォルダに存在しないことがあります。

「5.-2.」の「記録の停止」で控えた内容を、確認ください。

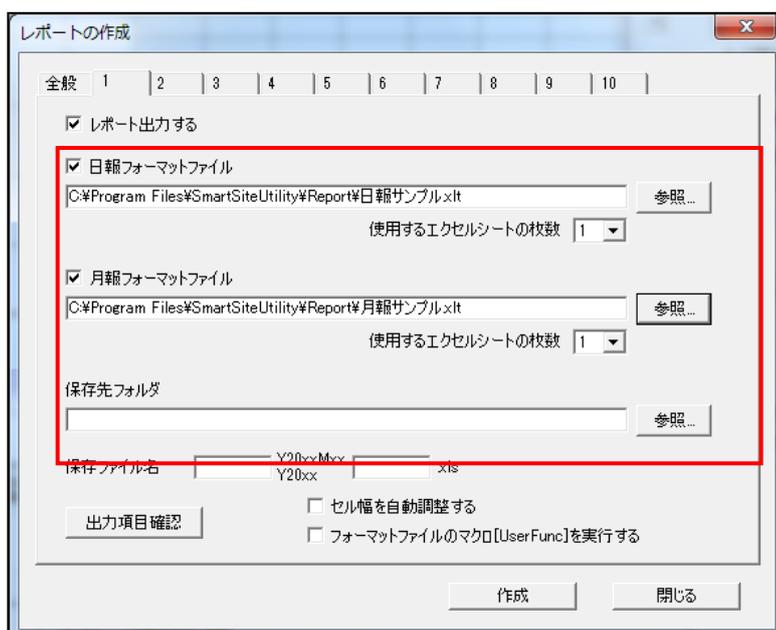
－2. 日報・月報レポート出力

Smart Site Viewer のレポート作成機能を使って、日報・月報を作成している場合、フォーマットファイル等をバックアップします。

[レポート]－[自動レポート作成]、または[手動レポート作成]を選択し、[レポートの作成]画面を表示します。

日報・月報のフォーマットファイル、および出力先の保存場所を確認し、ファイルをコピーします。最大10項目ありますので、すべて確認します。

日報フォーマットファイル1：	シート枚数	⑥
月報フォーマットファイル1：	シート枚数	⑦
保存先フォルダ：	マクロの実行	⑧
日報フォーマットファイル2：	シート枚数	
月報フォーマットファイル2：	シート枚数	
保存先フォルダ：	マクロの実行	



7. ファイルの貼り付け (Windows10)

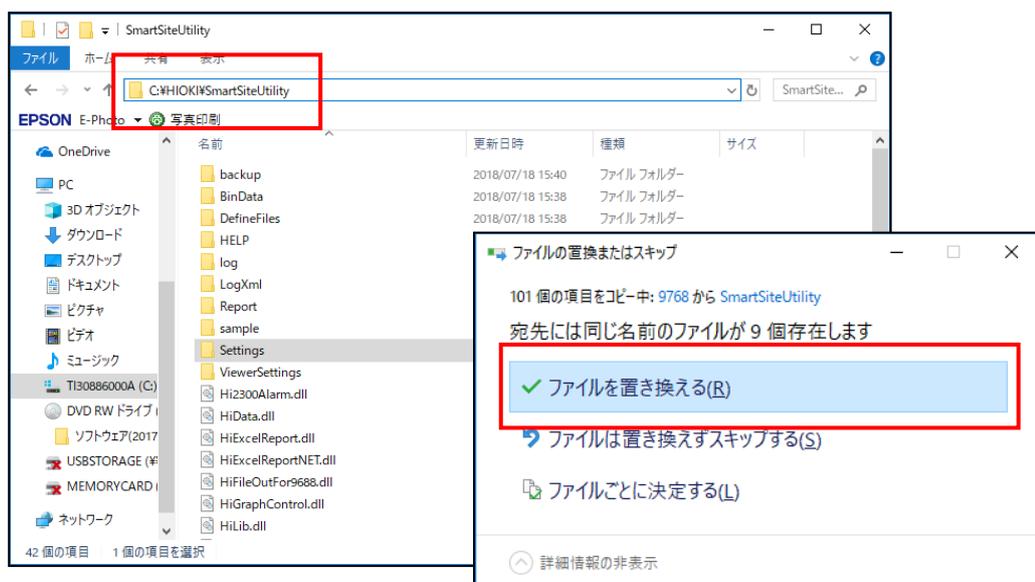
新パソコン (Windows10) に、旧パソコン (Windows7) でコピーしたファイルを貼り付けます。

コピー元のファイル	コピー先
① 「Settings」 ② SSutil.xml ③ 「ViewerSettings」	インストール先のフォルダ内 例：C:¥HIOKI¥SmartSiteUtility¥
④ RECxxxxxxxxx.hrp ⑤ 「RECxxxxxxxxx」	新規にフォルダを作成 例：C:¥Users¥ユーザ名¥Documents や C:¥Users¥Public¥Documents 内に、 「DATA」フォルダを作成
⑥・⑦ 日報月報フォーマットファイル	新規にフォルダを作成 例：C:¥Users¥ユーザ名¥Documents や C:¥Users¥Public¥Documents 内に、 「レポート出力」フォルダを作成

－ 1. 設定ファイルの貼り付け (①～③)

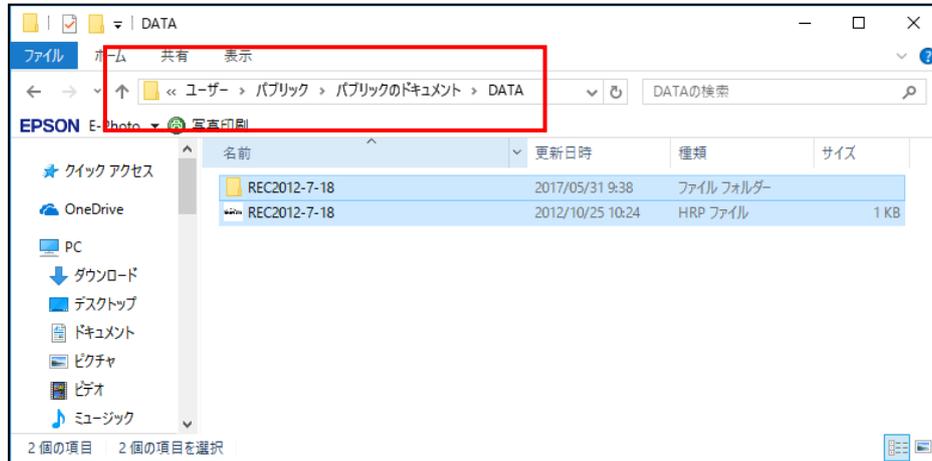
新パソコンの「4-4. (2).」で指定した「Smart Site Utility」のインストール先 (C: ¥HIOKI¥SmartSiteUtility) に、「6-1.」でコピーしたフォルダおよびファイル (①～③) を貼り付けます。

同名のファイルに貼り付けますので、[ファイルを置き換える]を選択してください。



–2. 記録ファイルの貼り付け (④・⑤)

C:¥Users¥ユーザ名¥Documents や C:¥Users¥Public¥Documents 内に、新規に「DATA」などのフォルダを作成し、④・⑤の記録ファイルを貼り付けます。



–3. 日報・月報レポート出力 (⑥～⑧)

C:¥Users¥ユーザ名¥Documents や C:¥Users¥Public¥Documents 内に、新規に「レポート出力」などのフォルダを作成し、フォーマットファイル (⑥・⑦) および、レポート出力ファイル (⑧) を貼り付けます。

8. ソフトウェアの動作確認 (Windows10)

– 1. Smart Site Utility を起動します。

(1). 通信確認

ツールバーの[通信確認]ボタンをクリックします。

クリックできない場合、[モニタ停止]ボタンを押し、モニタを停止します。



[通信・モジュールリストの確認]画面で、[確認を実行]をクリックし、モジュールと通信できることを確認します。(無線LANはOFFにしてください)



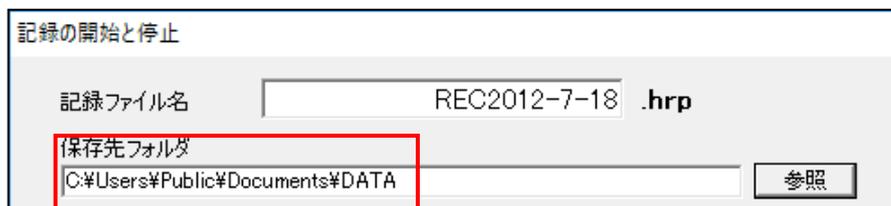
パソコンのセキュリティ環境により、[Windows セキュリティの重要な警告]画面が表示されることがあります。この場合、[アクセスを許可する]をクリックしてください。

(2). 記録の開始

[記録設定]ボタンを押し、[記録の開始と停止]画面で、[記録ファイル名] (④と同じ名前)を入力し、[保存先フォルダ]を設定します。

保存先フォルダは、「7-1. (2).」で記録データを貼りつけたフォルダを指定します。

(例 : C:\¥Users¥Public¥Documents¥DATA)



[記録開始]ボタンをクリックし、右のような追加記録のメッセージ画面が表示されることを確認してから、[はい]をクリックします。

表示画面とメッセージが異なる場合、

記録ファイル名、または保存先フォルダを確認してください。



(3). 定期収集の設定

メニューバーの[定期収集]ボタンが、押されていることを確認します。

[定期収集]は、ツールバーの[記録]-[定期データ収集の設定]で、記録インターバルに応じて、[30秒]ごとや[1分]ごとに設定します。

(4). 動作確認

記録動作状態（[記録動作中]と青字で表示）と、定期収集が動作することを確認してください。



(5). レポート出力の確認

「Smart Site Viewer」のレポート作成機能を、再設定します。

[レポート]-[自動レポート作成]、または[手動レポート作成]を選択し、[レポートの作成]画面を表示します。「6-2.」で控えた内容を元に、「7-3.」で貼り付けたフォーマットファイル、保存先フォルダ等を設定します。

「作成」をクリックし、レポートが出力できることを確認します。

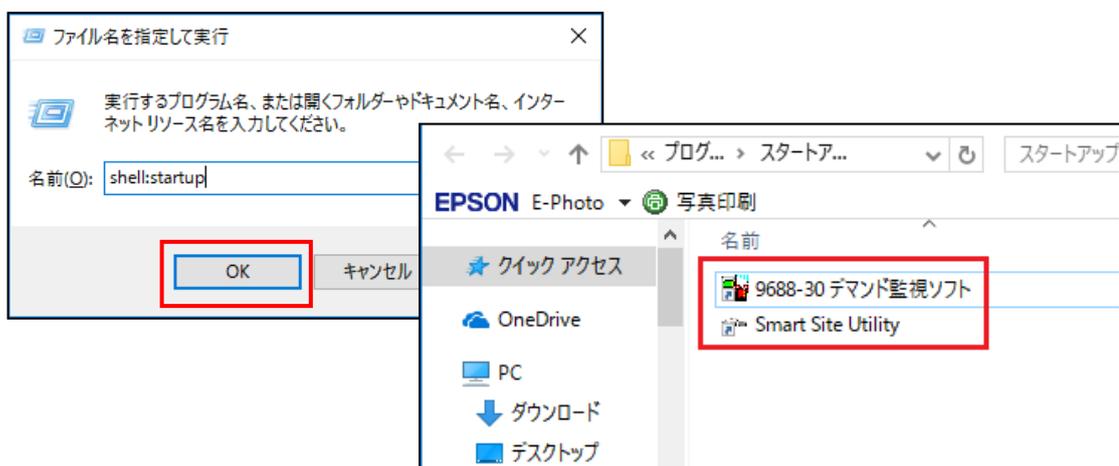
9. スタートアップへの登録 (Win10)

スタートアップに「Smart Site Utility」のショートカットを登録すると、パソコン起動時に自動的にソフトウェアが立ち上がります。

[Windows]+[R]のキーを同時に押し、[ファイル名を指定して実行]画面を表示します。

名前欄に「shell:startup」と入力し、[OK]をクリックします。

「スタートアップ」フォルダに、「Smart Site Utility」のショートカットを貼り付けます。



10. アンインストール (Windows7)

新パソコンにて、動作確認が完了しましたら、旧パソコンの「Smart Site Utility」を、アンインストールしてください。

また、スタートアップに登録している場合は、合わせて削除します。

バックアップのお願い

設定移行時に「6-1.」および「6-2.」でコピーしたファイルやフォルダは、CD-R等にコピーして大切に保管ください。万が一パソコンが故障した場合、この設定情報をバックアップしているとスムーズに復旧することができます。

【付録：移行後の確認】

項目	内容	チェック欄
Smart Site Utility Pro 9768	[通信確認]ボタンで、機器と通信できますか？	<input type="checkbox"/>
	メニューバーに[記録動作中]のメッセージは表示されていますか？	<input type="checkbox"/>
	[定期収集]のボタンは押されていますか？	<input type="checkbox"/>
	[時計補正]は設定しましたか？	<input type="checkbox"/>
Smart Site Viewer	旧パソコンと同様に、グラフ等は表示できますか？	<input type="checkbox"/>
	日報・月報レポート出力機能を利用している場合、「テンプレート」ファイルをバックアップしましたか？	<input type="checkbox"/>
	レポートは出力できますか？	<input type="checkbox"/>
	必要に応じて、[自動レポート]を設定してください	<input type="checkbox"/>
サーバ/クライアント オプション 9768-01	サーバの[モニタ]ボタンを、[モニタ停止]にします	<input type="checkbox"/>
	クライアントPCにて、モニタできますか？	<input type="checkbox"/>
	サーバPCのIPアドレスが変更となった場合、クライアントPCにて再設定が必要です	<input type="checkbox"/>
LAN モジュール メールオプション 9768-02	テストメール等、送信できるか確認ください	<input type="checkbox"/>
新パソコン	現在時刻は正確ですか？	<input type="checkbox"/>
	電源の設定はしましたか？	<input type="checkbox"/>
	各種設定のバックアップを作成しましたか？	<input type="checkbox"/>

※：本紙で記載している会社名、および製品名は、それぞれ各社の登録商標もしくは商標です。